

平成10年度

米沢市立上杉博物館年報

Vol. 11

Annual Report

1998

YONEZAWA CITY UESUGI MUSEUM

刊 行 に あ た っ て

米沢市は、平成13年に上杉氏入部400年・上杉鷹山公生誕250年という節目の年を迎えます。この記念すべき年に合わせて、当年秋には新博物館を開館する予定です。

平成10年度の米沢市立上杉博物館は、通常の博物館業務の他にこの新博物館の準備業務も加わり大変忙しい一年でありましたが、そのような中においても5件の館蔵品展を開催することができました。これも、館の運営をお願いしております(財)米沢上杉文化振興財団の御尽力によるものと厚く御礼申し上げます。

現在は新博物館開館に向けた準備に専念するため、平成11年春の館蔵品展を最後に休館いたしております。地域の方々を始め、多くの人に訪れていただける博物館を目指し準備を進めていきたいと思っておりますので、今後ともなお一層の御協力、御指導を賜りますようお願い申し上げます。

平成12年3月

米沢市教育委員会

教 育 長 佐 藤 政 一

目 次

○館の概要	1
・ 目的と沿革	
・ 施 設	
・ 博物館日誌	2
○平成10年度事業	
1. 展 示	
(1) 館蔵品展Ⅰ	7
(2) 館蔵品展Ⅱ	9
－館蔵日本画に見る夏の風景－	
(3) 館蔵品展Ⅲ	11
(4) 館蔵品展Ⅳ	13
(5) 館蔵品展Ⅴ	15
－館蔵刀剣と武具－	
2. 新博物館準備事業	17
(1) 上杉家文書資料集作成作業	
(2) 古文書の謄写本化	
(3) 資料調査事業	
(4) 展示準備事業	
(5) 館蔵資料整理・保存作業	
(6) 資料台帳整備作業	
(7) 図書資料分類・整理作業	
(8) 新博物館展示設計業務	
3. 収 集	
(1) 受入資料	21
(2) 収蔵資料数	23
4. 博物館実習	24
○入館利用状況	
1. 利用状況	25
2. 利用案内	26
○組織・名簿	
1. 米沢市立上杉博物館協議会委員	27
2. 財団法人 米沢上杉文化振興財団	28
3. 米沢市立上杉博物館	

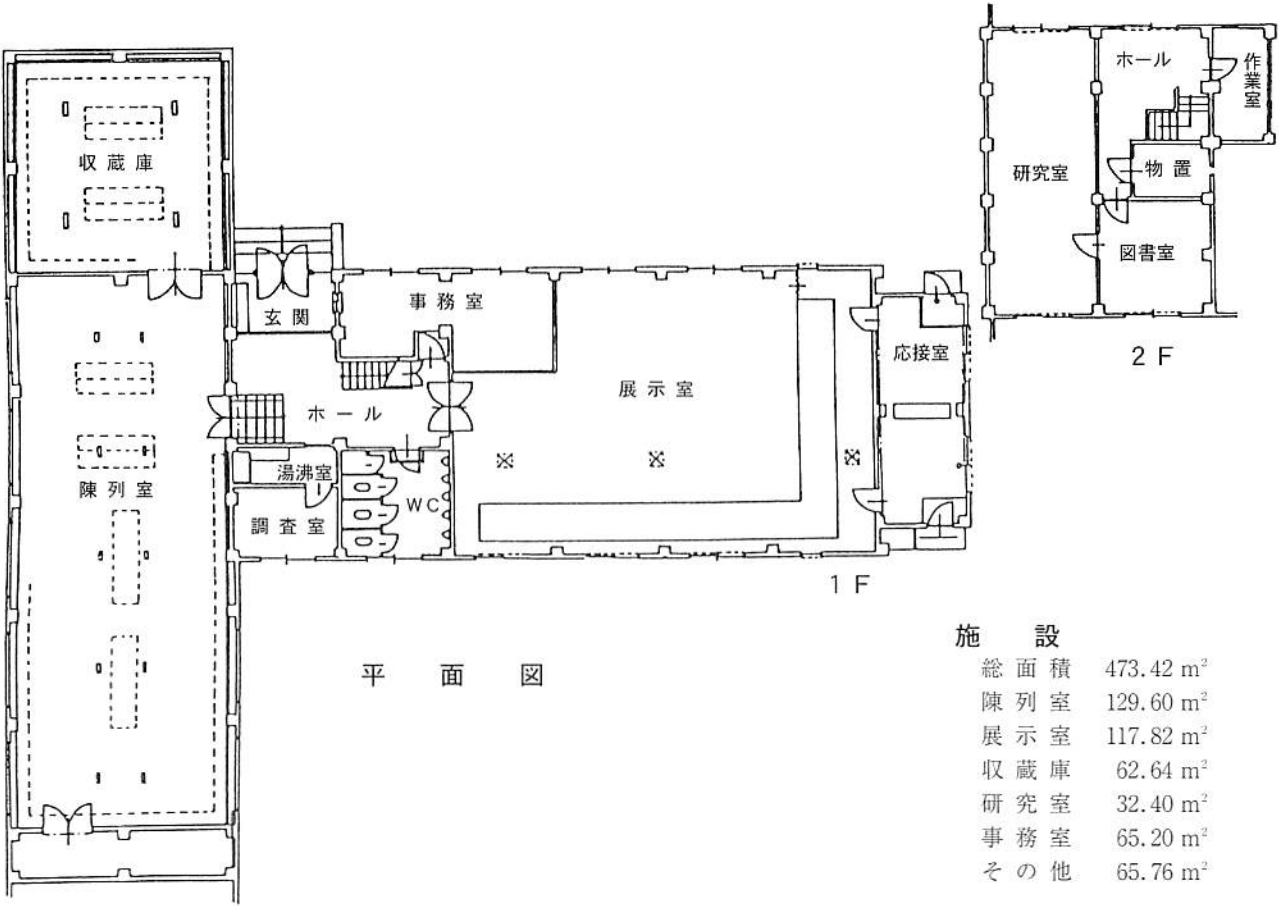
館の概要

目的と沿革

米沢市立上杉博物館は、その前身として米沢郷土館・米沢市立郷土博物館・市立米沢博物館があった。これらは南置賜郡役所や市立図書館に併設されていたが、昭和42年、市民の教養の向上と学芸および文化の発展を図るため、博物館施設として現在の位置に独立した館が建てられ、名称も米沢市立上杉博物館となって、そのあゆみを始めた。

当館では、価値ある資料を収集・保存し調査研究に基づく展示を行い、教育的配慮のもとに一般の利用に供すること、人々の教養・調査研究・レクリエーション等に資するために必要な事業を行うこと、資料に関する調査研究を行うことを目的としている。

昭和5年10月	元南置賜郡役所に米沢郷土館設置。
昭和13年4月	市政50周年記念として米沢市に移管され、市立図書館に併設。
昭和27年9月	博物館相当施設として登録、市立米沢郷土館と称す。
昭和30年9月	市立米沢図書館に移転（旧市立米沢図書館）。
昭和37年7月	博物館法による設置条例制定、市立米沢博物館と改称。
昭和41年11月	丸の内一丁目4番13号に、市立米沢博物館新館完成。
昭和42年4月	博物館法による設置条例制定、米沢市立上杉博物館と改称。
昭和42年6月	博物館施設として登録。



平成10年度 博物館日誌

H10. 4. 1 辞令交付式

コピー機修理（紙にしわが入るため）
相田教育長・佐藤教育次長・小杉文化課長・椿
阪主幹あいさつのため来館

4. 2 コピー機修理

4. 3 展示ケース撤去（コバリ）

4. 4 本棚等移動（草刈氏より依頼。伊藤氏〈田沢〉手 伝い）

4. 7 キャビネ（B5版5段）・いすを市より移管 本22冊、舟山前文化課長より寄贈 保管庫より箆笥移動

4. 9 佐藤防災点検（午後）（消火器3本期限切れ、階 段上煙感知機故障） 国立歴史民俗博物館 湯淺隆氏来館 平成9年度購入資料「絵画ダイアリー」（後藤 克芳氏）寄贈資料 張裕釗 宮島大八師生記念 碑（レプリカ）受入

4. 13 謄写本打合せのため(株)ケムシー永井氏来館 直江兼統関係資料展示依頼のため水無瀬正一氏 来館

4. 14 新博物館打合せ（於教育委員会 嶋貫事務局長・ 角屋・遠藤） 館内清掃（ABM）

4. 15 館内ワックスかけ（ABM）（午後）

4. 17 長岡正氏来館

4. 20 古銭11冊沖田良夫氏持参（1日預かり） 収蔵庫視察（小杉・椿阪）

4. 21 一時預かり品の返却（渡部守雄氏）（午後） 沖田良夫氏来館（午後）

4. 22 新潟県社会文化施設建設室 市村清貴氏来館 絵画を蔵へ移動（午後）

4. 23 館蔵品展準備 山形県立博物館 佐々木洋二氏・安藤徹氏・池 田正明氏来館 栗林金郎氏、直江兼統像持参 水無瀬正一氏、直江兼統関係図書持参 河野由一氏、直江兼統関係図書持参

4. 24 館蔵品展準備 石塚忠夫氏来館 コピー機修理（原稿送り機）（山形ゼロックス （株）金子清美氏）

4. 25 館蔵品展オープン（～5/5） 沖田良夫氏、渡部守雄氏来館（借用資料返却） 栗林金郎氏、水無瀬正一氏（直江会リーフレッ ト持参） 小関薫氏懷風23号寄贈

4. 26 米沢新聞社 樋口良章記者取材

4. 28 NHK 田中記者取材 労研 川島満明氏来館 高森務氏、書籍（直江関係）持参 山形県文化振興課長半田恵子氏来館 山形新聞社取材

4. 29 上杉隆治氏御子息、信隆氏、英隆氏来館

4. 30 新博物館展示打合せ（於博物館 椿阪・角屋・ 遠藤） 相田教育長来館

5. 1 佐藤美保子氏来館

5. 3 遠藤綺一郎氏来館

5. 11 会津八一記念館 近藤学芸員来館

5. 12 図書館書庫閲覧（遠藤・高橋） 借用資料返却（直江兼統関係図書）のため河野 由一氏へ

5. 13 新博物館展示部会（於市役所 角屋・遠藤） 上杉家文書撮影（メモリー舎） 横山きぬ氏宅へ（遠藤）（午後）

5. 14 新博物館打合せ（椿阪・角屋・遠藤）

5. 15 電話不調のためNTT 来館 メモリー舎来館

5. 20 新博物館展示部会（於博物館 企画調整課 佐 藤氏・椿阪・角屋・遠藤・乃村工藝社 稲垣 氏・熊谷氏・西野氏・吉田氏）

5. 21 コピー機の紙送り装置修理（ゼロックス） 相田教育長来館

5. 22 公用車納車 上杉家文書庫の検査 新博物館展示打合せ（於博物館 椿阪・角屋・ 遠藤）

5. 25 絵画修復下見のため影山賢次氏来館（鳥海山・ 大平溪谷）

5. 27 佐藤防災消火器点検のため来館 博物館レポート作成のため山田氏来館

5. 28 第17回大名道具収蔵館集会（於徳川美術館 角 屋・遠藤） 相田教育長来館

5. 29 第17回大名道具収蔵館集会（於徳川美術館 角 屋・遠藤）

6. 2 新博物館展示打合せ（於博物館 市史編纂室 青木氏・椿阪・角屋・遠藤） 新博物館展示部会（於博物館 市史編纂室 青 木氏・椿阪・角屋・遠藤・乃村工藝社）

6. 3 米沢日報社 成澤氏来館

6. 4 国の監査 観光関連施設従事者研修会 洛中洛外図勉強会打合せ（高橋敬一氏・角屋） 横山きぬ氏来館 福島市民大学講師派遣（角屋）

6. 5 ゼロックス点検

6. 9 新博物館展示打合せ（於博物館 市史編纂室 青木氏・椿阪・角屋・遠藤） 南部小学校 俣川慶太郎氏来館

6. 10 上杉家文書撮影（メモリー舎）

6. 11 新博物館展示打合せ（於博物館 市史編纂室 青木氏・椿阪・角屋・遠藤）

関東漆業来館 乃村工藝社来館 NTT 電話修理

6. 12 オフィスアルカディア関係者来館 パソコン納入

6. 16 新博物館展示打合せ（於博物館 市史編纂室 青木氏・椿阪・角屋・遠藤）

6. 17 新博物館展示打合せ（於博物館 市史編纂室 青木氏・企画調整課 佐藤氏・椿阪・角屋・遠 藤・乃村工藝社）

6. 18 メモリー舎来館

6. 19 新博物館展示打合せ（於博物館 市史編纂室 青木氏・椿阪） 洛中洛外図勉強会打合せ（高橋敬一氏・角屋）

- 山形美術館 加藤千明学芸員来館
長机・キャビネット搬入
- 6.20 相田教育長来館
石塚忠夫氏来館
- 6.23 助役・教育長打合せ(嶋貫)
「新米沢人セミナー」(於中央公民館 角屋)
上杉虎雄氏へ(生熊)
- 6.24 コピー機 紙送り部分修理
新博物館展示部会(於博物館 企画調整課 鈴木氏・市史編纂室 青木氏・椿阪・高橋)
- 6.25 コピー機部品交換
- 6.26 全国博物館長会議(於東京大学講堂 嶋貫)
新博物館展示部会(於庁議室 角屋・遠藤)
- 6.27 ワープロ点検(リコーテクノネット㈱)
相田吉助氏来館
市史編纂室 青木氏来館
- 6.30 資料収集方針策定委員会(於上杉城史苑 角屋・遠藤)
京都国立博物館学芸課長 湯山賢一氏・文化庁主任文化財調査官 大島暁雄氏来館
- 7.1 ノンフィクション作家 鈴木由紀子氏取材
- 7.2 新博物館展示部会(於市役所 角屋・遠藤)
文化課打合せ(於博物館 小杉・渡部・高橋・角屋・遠藤)
- 7.3 市史編纂室 青木氏・椿阪来館
- 7.6 リーダープリンター点検(ケムシー)
パソコン接続(高橋)
- 7.8 山形県立博物館 渡辺信学芸員資料借用のため来館
蔵へ(角屋・高梨)
- 7.9 机・いす各2つ搬入
- 7.10 国立歴史民俗博物館 湯淺隆氏来館
上越教育大学 川村知行氏来館
町田企画調整課長・小杉・高橋来館
- 7.13 文化財虫害研究所 山野勝次氏来館
保管庫・蔵・昆虫室・燻蒸開始
- 7.14 燻蒸2日目
教育委員会打合せ(嶋貫)
- 7.15 燻蒸3日目
エーザムテクノロジー来館
打合せ(小杉・高橋・角屋・遠藤)
- 7.16 燻蒸最終日
早稲田システム開発
新博物館展示部会(於市役所 角屋・遠藤)
- 7.17 新博物館打合せ(於博物館 町田企画調整課長・角屋・遠藤)
- 7.21 新博物館展示部会(於市役所 角屋・遠藤)
長岡正氏来館
- 7.22 図書館打合せ(遠藤)
上杉城史苑・松岬公園案内(角屋)
清水澄氏来館
- 7.23 新博物館展示部会(於博物館 角屋・遠藤)
- 7.24 キムラ社長 木村勝氏来館
東京第一ホテル米沢 遠藤氏来館
- 7.25 長岡正氏来館
理事長寄託打合せ
- 7.28 昆虫展打合せ
- 7.29 山形美術館視察(嶋貫)
カラーコピー機寄贈のため木村氏・武藤氏来館
米沢新聞社取材
- 7.30 新博物館勉強会、国立歴史民俗博物館 湯淺隆氏来市(於市役所 角屋・遠藤)
- 7.31 図書館打合せ(遠藤)
古美術「はせべや」長谷部純一氏来館
- 8.3 館蔵銃刀確認のため長岡正氏来館
新博物館管理運営体制打合せ(於教育委員会 嶋貫・角屋・遠藤・生熊)
- 8.4 博物館から永幡氏宅へ昆虫移動(個人所蔵分)
ケムシー・キャノン来館
- 8.5 キャノン来館
新博物館企画展打合せ(於文化庁他 遠藤)(~6日)
資料調査(於埼玉・新潟 角屋)(~6日)
- 8.6 長岡正氏来館
電気交換
- 8.7 東京国立博物館普及室長 村野隆男氏来館
新博物館展示部会(於博物館 角屋・遠藤)
電気交換
- 8.8 館蔵品展Ⅱオープン(~8/16)
刀剣手入れ作業のため長岡正氏来館
米澤新聞社 田口氏取材
上杉虎雄氏来館
- 8.11 山形県文化振興課 高橋啓二氏来館
新博物館展示部会打合せ(於博物館 角屋・遠藤)
管理運営内部打合せ
山形県立博物館 主幹佐々木洋二氏来館
長岡正氏来館
館内清掃(ABM)
- 8.12 山形美術館出張(嶋貫)
「かてもの版木」調査のため山形県立博物館佐々木洋二氏来館
- 8.17 新博物館打合せ(於博物館 角屋・遠藤・乃村工藝社 吉田氏・越氏)
- 8.18 2階網戸工事(コバリ)
新博物館展示打合せ(於博物館 角屋・遠藤・乃村工藝社 吉田氏・越氏)
新博物館展示打合せ(於市役所 角屋・遠藤)
- 8.19 相田教育長・小杉来館
長岡正氏来館
2階網戸採寸のため来館(コバリ)
- 8.20 洛中洛外図屏風調査(文化庁調査官 鬼原俊枝氏・小杉・椿阪・山本)
網戸取り付け作業(コバリ)
- 8.21 刀剣手入れ作業のため長岡正氏来館
- 8.24 行屋について文化課との打合せ(於博物館 山本・角屋・嘉藤)
新博物館勉強会(於市役所301 角屋・遠藤)
長岡正氏来館
- 8.25 教育委員会打合せ(嶋貫・生熊)
上杉家文書写真撮影(メモリー舎)
小口亘氏来館
- 8.26 新博物館展示部会(於市役所 角屋・遠藤)
展示室電気交換(遠藤電機)
- 8.27 刀剣手入れ作業のため長岡正氏来館
昆虫取材(読売新聞社)
- 8.28 第2回資料収集策定委員会(於市役所 角屋・遠藤)
定期点検(ムサン)
取材のため商工会議所 早見・柴田デザイナー来館
- 8.31 新博物館業務分担打合せ(於市役所 角屋・遠藤)
長岡正氏来館
- 9.1 町田企画調整課長来館

- 鷹山大学解説（角屋）
博物館実習A班（板垣・木村・熊谷）開始（～9/4）
米沢女子短期大学 助教授 藺部寿樹氏、実習挨拶のため来館
- 9.2 山形県立博物館 遠藤正叔学芸員来館
鈴木仁氏来館
刀剣手入れのため長岡正氏来館
大塚巧藝社 並木社長・田部氏来館
- 9.3 新博物館展示打合せ（於博物館 角屋・遠藤・乃村工藝社）
NTT 回線工事
米沢信用金庫来館
- 9.4 上杉家文書（鷹山公官物）写真撮影（米沢地域フォーラム）
- 9.7 図書館との打合せ（於教育委員室 遠藤）
- 9.8 槍審査のため持ち出し、返却（山本）
山形県立博物館資料返却
市議会議員 佐藤茂氏来館
館内清掃（ABM）
- 9.9 新潟市市民文化会館整備課視察（嶋貫・生熊）
新潟県立文書館 小野民裕氏来館
- 9.10 新博物館展示打合せ（於博物館 企画調整課 佐藤氏・角屋・遠藤・乃村工藝社）
キャノン 志田氏来館
- 9.11 平山孫兵衛氏来館
刀剣手入れ作業のため長岡正氏来館
博物館実習B班（石倉・安部・藤原）開始（～9/15）
- 9.12 館蔵品展Ⅲオープン（～9/27）
石塚忠夫氏来館
- 9.15 長岡正氏来館
- 9.16 新博物館設備関係打合せ（於市役所 角屋・遠藤）
洛中洛外図勉強会打合せのため高橋敬一氏来館（角屋）
中央公民館 新・女性セミナー講師（角屋）
刀剣指導のため長岡正氏来館
- 9.18 博物館実習C班（浦浜・佐藤・山本）（～9/22）
西部公民館 解説（嶋貫）
渋谷氏来館
「山形の文化財」編集のため、安彦氏（山形県文化財保護協会）・松永氏・高橋氏（藤庄印刷）来館
蔵へ（角屋・高梨・博物館実習生）
博物館協議会視察
- 9.19 細井平洲取材のため画家 橋本豊治氏来館
- 9.20 川西町フレンドリープラザ「黒澤梧郎ふるさと回顧展」へ（嶋貫）
- 9.25 新博物館建物部分打合せ（於市役所 角屋・遠藤）
新博物館情報部会（於教育委員室 遠藤）
受託事業見直しについて文化課との打合せ（於博物館 嶋貫・角屋・遠藤・生熊）
- 9.27 館蔵品展Ⅲ最終日
南陽高校遠藤こずえさん、学芸員について取材のため来館
- 9.29 行屋調査打合せ（山本）
NEC 来館
展示撤去
今泉氏来館
佐藤教育次長来館
ナショナル来館
- 9.30 新博物館情報部会（於市役所 遠藤）
新博物館設備打合せ（於市役所 角屋・遠藤）
- 10.1 ケムシー 永井氏来館
- 10.2 打合せのため企画調整課 佐藤氏来館
洛中洛外図屏風（複製）貸出のため、千葉中央博物館木村修氏、川尻秋夫氏来館、山本立会い
- 10.6 刀剣手入れ後期受講開始のため長岡正氏来館（小杉・嶋貫）
- 10.7 刀剣手入れ2日目 長岡正氏来館
設備打合せ（椿阪・遠藤）
資料収集委員会（高橋・遠藤）
蔵清掃（角屋・佐藤〈道〉・高梨・佐藤〈優〉）
- 10.8 佐藤防災点検
- 10.9 乃村工藝社2名来館
企画調整課 鈴木氏来館
資料収集方針策定委員会（角屋・遠藤）
- 10.12 コピー点検（ゼロックス）
- 10.13 今泉氏来館
矢尾板操氏、資料調査依頼のため来館
新博物館展示部会（於市役所 角屋・遠藤）
長岡正氏来館
佐藤教育次長来館
館内清掃（ABM）
- 10.14 資料作成打合せ（嶋貫・角屋・遠藤・生熊）
上杉虎雄氏来館
町田企画調整課長来館
- 10.15 刀剣手入れ作業3日目 長岡正氏
平成11年度予算打合せ（於博物館）
- 10.16 フォーラム「謙信・景勝と春日城」（於上越教育大学 角屋）
- 10.19 予算打合せ（高橋）
- 10.20 刀剣修理打合せのため長岡正氏・大嶋萬平氏来館
館蔵品展Ⅳオープン（オープンセレモニー 小杉）（～11/3）
展示室電機設備確認（吉田建設）（見積り） スズデン
山形新聞社 取材
- 10.21 東京国立博物館普及室長 村野隆男氏来館
庄司氏（川島印刷）永井氏（ケムシー）来館
NCV 取材
新博物館展示部会（於市役所 角屋・遠藤）
システムイン米沢 山田氏来館
- 10.22 早稲田システム 収蔵品管理システムデモンストラーション（椿阪・高橋）
矢尾板家打合せ（嶋貫・角屋）
洛中洛外図写真版、ホクヨウへ貸出（市立病院）
ワープロ打合せ（アイカワ）
大嶋萬平氏宅へ（嶋貫）
取材（米澤新聞社・NHK）
- 10.23 羽陽印刷へ（角屋・遠藤）
市立病院、洛中洛外図写真版返却（山本立会い）
鈴木五郎氏来館
川野氏来館
- 10.27 文化課との予算打合せ（於博物館 小杉・渡部）
栗林宅へ（小杉・嶋貫・遠藤）
国立歴史民俗博物館 湯淺隆氏来館
- 10.28 カラーコピー点検
- 10.29 新博物館情報部会（於教育委員室 遠藤）
- 10.30 啓明教育研究会事務長 白石和人氏・（菊しんき）
企画代表取締役 金田祐作氏来館
京都陶磁器卸協同組合理事長 熊谷隆一郎氏来館
- 11.3 長岡正氏来館
- 11.5 文化課へ予算提出

	新博物館諸室打合せ（於市役所 角屋）		角屋・遠藤）
	塩川勝彦氏来館		御用納め
11. 6	伊東忠太の件で矢作英雄氏来館	H11. 1. 4	御用始め
11. 9	水無瀬正一氏来館	1. 5	新博物館情報部会（於博物館 椿阪・高橋・遠藤・乃村工藝社）
11.10	刀剣撤去のため長岡正氏来館		山岸才一氏来館
	大嶋萬平氏来館		鈴木仁氏来館
	館内清掃（ABM）		遠藤綺一郎氏・佐藤美保子氏資料調査のため来館（～3月）
11.11	大嶋萬平氏来館		上杉虎雄氏来館
11.16	福田氏来館	1. 7	米沢信用金庫 丸山氏来館
	公用車6ヶ月点検		展示ケース打合せ（於博物館 椿阪・高橋・花田）
11.17	山形県立博物館へ燻蒸のため資料搬出		資料調査（遠藤氏・佐藤氏）
	実施設計打合せ（於博物館 乃村工藝社）	1. 8	山岸才一氏来館
11.18	東京大学 山田邦明氏来館		小貫幸太郎氏来館
11.19	矢尾板操氏来館	1.11	早稲田システム来館
11.20	名古屋城天守閣 学芸員 奥出賢治氏来館		今泉氏来館
11.24	新博物館展示基本設計報告（於置賜総合文化センター 嶋貫・生熊・佐藤〈優〉）		資料調査（遠藤氏）
	早稲田システム開発来館	1.12	新博物館全体会議（於教育委員室 角屋・遠藤）
11.25	新博物館展示部会（於教育委員室 角屋）		新博物館設備・資料収集打合せ（於教育委員室 角屋・遠藤）
11.27	千葉中央博物館より洛中洛外図屏風（複製）返却		資料調査（遠藤氏・佐藤氏）
	ワックスがけ（ABM）		米沢日報社来館
11.30	石塚忠夫氏来館		館内清掃（ABM）
	カラーコピー点検（キャノン）	1.13	新博物館展示打合せ（於山形市 横山昭男氏宅 高橋・角屋・乃村工藝社 吉田氏）
12. 1	長岡正氏来館	1.14	東北バイオニア来館
	早稲田システム来館		織機取材のため徳町 鈴木氏宅へ（角屋）
12. 2	文書を取りに蔵へ（角屋・高梨・佐藤〈裕〉）		資料調査（遠藤氏・佐藤氏）
12. 3	山形県立博物館へ資料受け取り（角屋・山本）	1.18	雪降りし作業（太田建設6名）
12. 5	平成13年度特別展打合わせ（於文化課 角屋）		資料調査（佐藤氏）
12. 7	寄託品刀剣 河内守国助、研ぎ完了、納品（大嶋萬平氏）		岡山城貸出資料打合せ（於博物館 大乘寺氏・宮坂氏・角屋）
12. 8	上杉家文書 マイクロ撮影	1.19	設備内部打合せ（於市役所 花田）
	新博物館展示打合せ（於市役所 角屋・遠藤）		山形大学人絹取材（於文化課 角屋）
12. 9	上杉家文書マイクロ撮影		資料調査（遠藤氏・佐藤氏）
	情報打合せ（於博物館 遠藤）		ケムシー来館
12.10	新博物館展示打合せ（企画調整課 佐藤氏・高橋・角屋・乃村工藝社）		「上杉文化と鷹山」について講演（於東北バイオニア 角屋）
	文化会館よりストーブ3台借用	1.20	新博物館展示構成打合せ（於東京国立博物館 角屋）
12.11	ストーブ、文化会館へ返却		新博物館展示資料調査（於小貫氏宅 花田）
12.15	椿貞雄 油絵修復状況視察・確認（於宮城県黒川郡富谷町 遠藤・高橋）		三上氏来館
	業務打合せ（於文化課 嶋貫・角屋）		蔵へ（永幡）
12.16	NHK との打合せ（於教育委員室 角屋・遠藤）	1.21	新博物館分科会（於置賜総合文化センター 角屋）
	香坂昌志氏寄託品返却（刀 長船祐定一振・脇差伊賀守金道一振）（山本立会い）		新博物館設備打合せ（於庁議室 花田）
12.17	山形大学名誉教授 横山昭男氏展示打合せ（於置賜総合文化センター 高橋・角屋）		資料調査（遠藤氏・佐藤氏）
	長岡正氏来館	1.22	仙台市博物館へ出張（角屋・遠藤）
	大嶋萬平氏来館	1.25	山形県警察 菅井信男氏、銃刀砲調査のため来館
12.18	設備打合せ（於置賜総合文化センター 角屋）		能関係資料打合せ（於教育委員会 角屋）
12.21	展示資料調査（於図書館 角屋・佐藤〈裕〉）		資料調査（佐藤氏）
12.22	展示室中央電気交換（遠藤電機）	1.26	新博物館展示打合せ（於庁議室 角屋）
	新博物館展示部会（於置賜総合文化センター 角屋）		資料貸出打合せ（岡山城・上杉神社・宮坂考古館・小杉・角屋）
	小林氏来館		資料調査（遠藤氏・佐藤氏）
12.24	新博物館展示資料調査（於白布温泉 椿阪・渡部・角屋）	1.27	新博物館情報部会（企画調整課 佐藤氏・椿阪・高橋・遠藤）
	小林氏・ふるうち氏来館		「妙義山」貸出（山本立会い カトーレック搬出）
	鈴木仁氏来館		岡山城（南氏・川島氏）打合せ
12.25	刀剣手入れ（嶋貫）		リーダープリンター修理（ムサシ）
12.28	新博物館展示部会（於置賜総合文化センター		

- 虎屋商事 渥美健治氏来館
- 1.28 資料調査 (遠藤氏・佐藤氏)
- 2.1 資料調査 (遠藤氏・佐藤氏)
早稲田システム来館 (午前)
- 2.2 新博物館情報打合せ (於置賜総合文化センター
花田)
米沢女子短期大学へ (角屋)
新博物館打合せ (角屋・高橋・乃村工藝社・吉
田氏)
資料調査 (佐藤氏)
文化課長と打合せ (嶋貫)
- 2.3 館藏品展写真撮影 (メモリー舎)
上杉虎雄氏来館
文化課長と打合せ (嶋貫)
- 2.4 収蔵庫打合せ (於博物館 企画調整課・椿阪・
高橋・花田・岡岡設計)
資料調査 (遠藤氏・佐藤氏)
- 2.5 新博物館映像打合せ (於博物館 高橋・角屋・
乃村工藝社)
アルバイト打合せ (四井)
- 2.6 資料調査 (遠藤氏)
島貫工務店、打合せのため来館
館藏品展Vオープン (～2/14)
- 2.7 上杉虎雄氏・今泉氏来館
- 2.9 館内清掃 (ABM)
コピー機点検 (ゼロックス)
置賜農業高等学校において講演 (角屋)
資料調査 (遠藤氏・佐藤氏)
- 2.10 新博物館展示構成打合せ (於南陽市武田正氏宅
高橋・角屋)
朝日新聞社(川谷氏)・読売新聞社(武田氏)取材
- 2.11 福岡市美術館打合せ (花田・生熊)
資料調査 (遠藤氏・佐藤氏)
- 2.12 木村勇一氏来館
県警本部 菅井信男氏来館
福岡市美術館打合せ (花田・生熊)
新博物館全体会議 (於置賜総合文化センター
角屋)
- 2.13 資料調査 (遠藤氏)
秘書広報課・姉妹都市の方(12名)来館 (解説/
角屋)
- 2.14 館藏品展V最終日
- 2.17 収蔵品データベース打合せ (於博物館 乃村工
藝社・花田)
県警 菅井氏・伊藤智秋氏来館
- 2.18 平成11年度予算打合せ (於博物館 渡部・高橋)
資料調査 (遠藤氏・佐藤氏)
- 2.19 西部公民館あすなろ会において講演 (角屋)
新博物館展示打合せ (於市史編さん室 角屋)
遠藤宏三氏来館
第二学芸室エアコン修理
- 2.22 洛中洛外図原本調査 (半田九清堂・山本立会い)
文化庁文化財調査官 鬼原俊枝氏来館
資料調査 (佐藤氏)
長岡正氏来館 (午後)
- 2.23 寒河江五郎氏宅資料調査 (角屋)
資料調査 (遠藤氏・佐藤氏)
- 2.24 データのデジタル化について図書館との打合せ
(於置賜総合文化センター 花田)
長岡正氏来館
カラーコピー機点検
- 古川氏宅資料調査 (角屋)
- 2.25 文化財情報システムフォーラム研修会 (於東京
国立博物館 花田)
資料調査 (遠藤氏・佐藤氏)
- 2.26 新博物館展示構成打合せ (於置賜総合文化セン
ター 山形女子短期大学教授 武田正氏・高橋・
角屋)
- 3.1 京都国立博物館 湯山賢一氏訪問 (角屋)
資料調査 (佐藤氏)
- 3.2 資料調査 (高津古文化会館・戦陣武具資料館)
資料調査 (遠藤氏・佐藤氏)
- 3.3 成島焼調査のため、彦根城博物館学芸員 谷口
徹氏・農村文化研究所理事長 鈴木仁氏来館
長岡正氏来館
鹿児島市維新ふさと館・鹿児島県立博物館視
察 (角屋)
- 3.4 資料調査 (遠藤氏・佐藤氏)
高鍋町歴史総合資料館資料調査 (角屋)
- 3.5 蔵へ (佐藤く道)・高梨)
- 3.8 岡山城へ資料貸出し (山本・角屋)
資料調査 (佐藤氏)
- 3.9 資料調査 (遠藤氏・佐藤氏)
相田教育長と打合せ (嶋貫)
- 3.10 渡辺守雄氏来館
長岡正氏来館
山岸オ一氏来館
- 3.11 岡山城春季特別展展示指導 (～13日) (角屋)
資料調査 (遠藤氏・佐藤氏)
NEC 山田氏打合せ
上杉虎雄氏来館
- 3.12 南部小学校より武者絵を搬入
- 3.15 小嶋弥左衛門氏より資料借用 (角屋)
仏画調査 (群馬県立女子大学 麻木修平教授・
角屋)
資料調査 (佐藤氏)
- 3.16 仏画調査 (群馬県立女子大学 麻木修平教授)
資料調査 (佐藤氏)
- 3.17 武者絵調査 (椿阪)
小嶋弥左衛門氏所蔵仏画「十二天」返却
- 3.18 資料調査 (遠藤氏・佐藤氏)
武者絵調査 (椿阪)
- 3.19 武者絵調査 (椿阪)
- 3.23 武者絵調査 (椿阪)
資料調査 (遠藤氏・佐藤氏)
長岡正氏来館
- 3.24 ケムシー打合せ
彦根城博物館 谷口徹氏成島焼写真撮影
農村文化研究所 鈴木仁氏来館
カラーコピー機点検
米沢信用金庫本店来館
- 3.25 資料調査 (遠藤氏・佐藤氏)
太刀 号 姫鶴一文字写真撮影 (メモリー舎)
- 3.26 武者絵写真撮影 (椿阪)
- 3.29 資料調査 (佐藤氏)
産業文教常任委員長挨拶
- 3.30 資料調査 (遠藤氏・佐藤氏)
長岡正氏来館
遠藤宏三氏来館
渡辺守雄氏来館

平成10年度事業

1. 展 示

館 蔵 品 展 I

館蔵の顕著な資料や、米沢を代表する人物に関する資料で展示を構成した。

直江兼続が米沢入りして400年という記念の年であったので、米沢直江会の要請と協力により、展示の一部を直江兼続のコーナーとした。

会 期：平成10年4月25日(土)～5月5日(火)

11日間(開館日数10日間)

主 催：米沢市立上杉博物館

主 管：財団法人 米沢上杉文化振興財団

入館料：一 般 100円(80円)

学 生 60円(45円)

小中生 40円(30円)

※()内は20名以上の団体割引料金

関連印刷物：

ポスター

配布資料(B5版「よねざわの歩み」)

以上、外部注文なし

特別展示：

紙本金地著色 洛中洛外図(原本)(国宝)

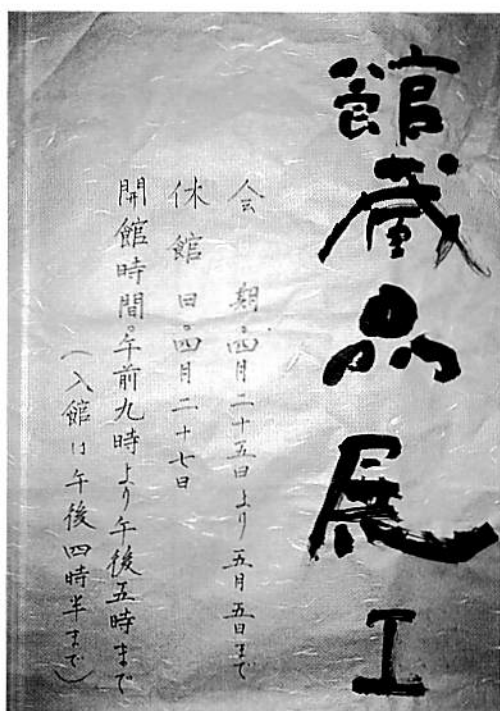
展示場所：展示室

資料の借用：

米沢善本「直江版文選」

(市立米沢図書館)

直江兼続関係図書(米沢直江会)



展示資料目録

- 紙本金地著色 洛中洛外図（原本）（国宝）
- 上杉家文書（重要文化財）
- （寛政元年三月廿五日）上杉治憲書状
- 慶長貳拾年正月朔日直江重光 兼続 自筆五楽願書 歳徳神徳殿御宝前充
- 太刀 銘一（号姫鶴一文字）（重要文化財）
- 太刀 銘 長船長光 文永十一年十月廿五日（重要美術品）
- 鉄錆色塗腰紺色糸威二枚胴具足
- 直江兼続肖像画
- 直江兼続関係図書
- 米沢善本「直江版文撰」
- 上杉鷹山肖像画
- 情熱（細井平洲像）
- 細井平洲肖像画
- 七家騒動の図（狩野文信筆）
- 隠退の図（狩野文信筆）
- 敬師郊迎の図（狩野文信筆）



直江兼続関係図書展示風景

直江兼続関係図書一覧

資 料 名	発 行	著 者	発行年
浪漫街道	山形放送米沢支社		
浪漫街道 part. Ⅲ	山形放送米沢支社		
直江兼続	PHP研究所	中 村 晃	
北の王国 上	学陽書房	童 門 冬 二	1996
北の王国 下	学陽書房	童 門 冬 二	1996
密謀	毎日新聞社	藤 沢 周 平	1997
米沢の大恩人 直江兼続公 絵ばなし	米沢直江会	上 村 良 作	1988
米沢の大恩人 直江兼続公 絵ばなし (紙しばい)	米沢直江会	上 村 良 作	
直江兼続のすべて	新人物往来社	花ヶ岡 盛 明	1993
一夢庵風流記	読売新聞社	隆 慶一郎	1989
直江山城守兼続公	林泉寺	今 泉 亨 吉	1984
花の慶次	集英社	原作 隆慶一郎 作画 原 哲夫	1990
龍師火帝			
米沢の町人まち	米沢直江会	小 野 榮	1987

館蔵品展Ⅱ

—館蔵日本画に見る夏の風景—

館蔵資料の中から、江戸時代後期から明治期に描かれた日本画、特に、米沢とゆかりの深い絵師による作品を展示した。

「夏の風景」をテーマに捉え、それぞれを鑑賞していただき、来館者にしばし涼やかさを感じていただくことを目的とした。

会 期：平成10年 8 月 8 日(土)～ 8 月16日(日)
9 日間(開館日数 8 日間)

主 催：米沢市立上杉博物館

主 管：財団法人 米沢上杉文化振興財団

入館料：一 般 100円 (80円)

学 生 60円 (45円)

小中生 40円 (30円)

※ () 内は20名以上の団体割引料金

関連印刷物：

ポスター

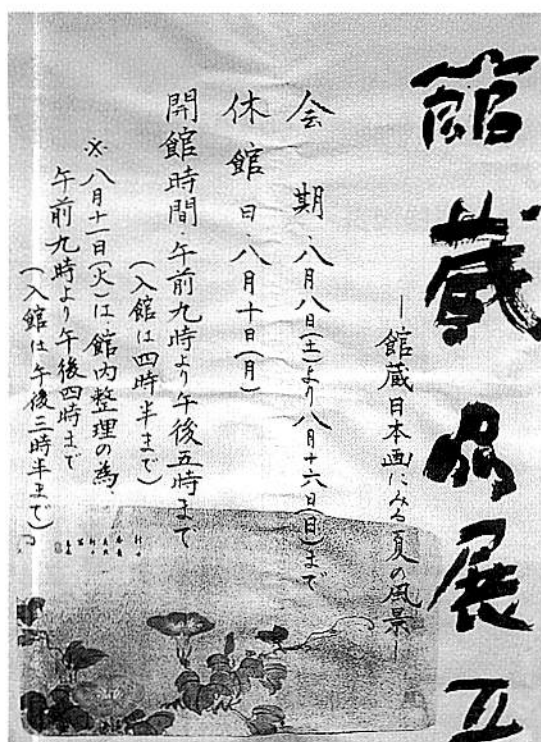
展示資料図録 (A 4 版 2 つ折)

以上、外部注文なし

特別展示：

紙本金地著色 洛中洛外図 (複製)

展示場所：展示室



展示資料目録

作 品 名	作 者 名	製 作 年 代	員数	材 質 (技法・支持体)	サ イ ズ
花鳥図	息廬（上杉勝賢）	明治19(1886)初夏	一紙	紙本着色	27.0×528.4
朝顔図	息廬（上杉勝賢）	明治23(1890)	一紙	紙本着色	25.0× 46.5
月明過雁	濱崎木麟	明治30(1897) 6 月	一幅	絹本淡彩	128.0× 57.0
草木花図（粉本）	目賀多信済	不 明	一卷	紙本着色	31.5×625.0
花籠図	息廬（上杉勝賢）	不 明	一幅	紙本着色	134.5× 52.5
螢光読書図	今府直峰	不 明	一幅	紙本淡彩	125.0× 64.0
浅絳山水図	菅原白龍	不 明	一幅	紙本淡彩	89.5× 84.5
浅絳山水図	細井平洲	不 明	一幅	絹本淡彩	103.5× 41.0
蓮図	澤口静山	明治22(1899) 1 月	一幅	紙本淡彩	128.5× 53.0
名扇帖	下條桂谷	不 明	一冊	紙本着色	20.4× 25.5
柳下美人図	聞潮桜田熊洞	丁巳未夏	一幅	紙本着色	136.6× 58.5
山水図	春木南溟	明治 7 (1874) 7 月	一幅	絹本淡彩	123.0× 51.0

館 蔵 品 展 III

会期中に「上杉鷹山公まつり」が行われることから、博物館の展示も上杉鷹山周辺の資料で構成した。

会 期：平成10年 9 月12日(土)～ 9 月27日(日)
16日間(開館日数12日間)

主 催：米沢市立上杉博物館

主 管：財団法人 米沢上杉文化振興財団

入館料：一 般 100円(80円)

学 生 60円(45円)

小中生 40円(30円)

※ () 内は20名以上の団体割引料金

関連印刷物：

ポスター

展示資料目録(B 5 版 2 つ折)

以上、外部注文なし



特別展示：紙本金地著色 洛中洛外図

(原本)(国宝)

展示場所：展示室

資料借用：

米沢善本「流虬百花譜」

(市立米沢図書館)

展示資料目録

紙本金地著色 洛中洛外図（原本）（国宝）

紺糸威鉄錆塗二枚胴具足

鉄錆色塗腰紺糸威二枚胴具足

上杉鷹山座像（鈴木実作）

上杉鷹山書「何処得秋霜」

藁科松柏肖像画

細井平洲肖像画

黒井（半四郎）忠寄肖像

莅戸善政書「終日在書案」

神保蘭室書

三谷三九郎宛竹俣美作書状留

麗之（お豊の方）和歌

お豊の方／寛之助（鷹山次男）墓写真

流虬百花譜（米沢善本）（市指定文化財）

かてもの版本（市指定文化財）

成島焼

相良人形

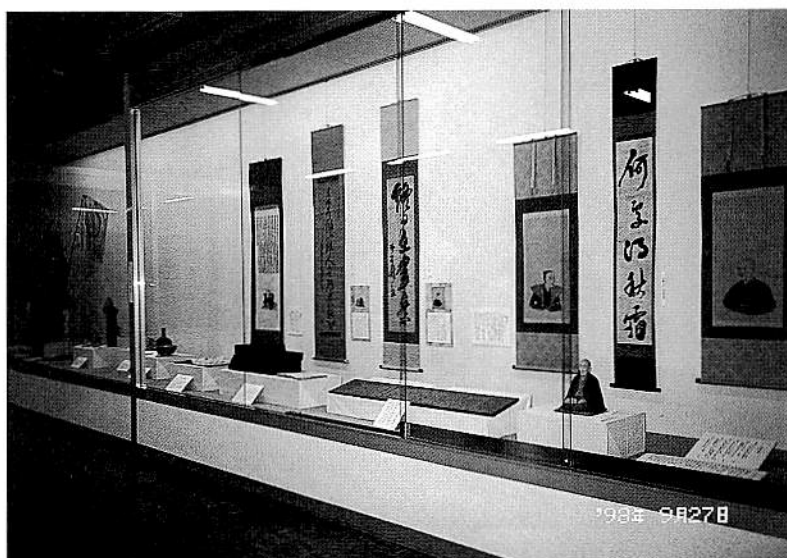
笹野彫

米沢城全景図

鉄砲上覧の図

籍田の図

愛宕山雨乞いの図



館蔵品展Ⅳ

—館蔵刀剣と武具—

館蔵刀剣と武具を中心に展示した。寄託品の鐔や小柄・笄・目貫など刀装具もあわせて展示し、美術工芸品としての刀剣、刀装具を紹介した。



会 期：平成10年10月20日(火)～11月3日(火)
13日間(開館日数11日間)

主 催：米沢市立上杉博物館

主 管：財団法人 米沢上杉文化振興財団

入館料：一 般 100円(80円)

学 生 60円(45円)

小中生 40円(30円)

※()内は20名以上の団体割引料金

関連印刷物：

ポスター 10枚

展示資料図録(A4版2つ折)

以上、外部注文なし

特別展示：

紙本金地著色 洛中洛外図(原本)(国宝)

太刀 銘一(号姫鶴一文字)(重要文化財)

太刀 銘 長船長光(重要美術品)

刀 銘 兼光

大太刀 無銘 伝越前来国安

資料借用：

大太刀 無銘 伝越前来国安(個人蔵)

刀 銘 兼光(寄託品)

展示資料目録

紙本金地著色 洛中洛外図（原本）（国宝）

太刀 銘一（号姫鶴一文字）（重要文化財）

太刀 銘 長船長光（重要美術品）

文永十一年十月廿五日

刀 銘 備前国長船住享禄貳年^巳丑年兼光作

永禄七年^甲子年正月十一日藤原輝虎三寸上之

大太刀 無銘 伝越前来国安

鉄錆色塗腰紺色糸威二枚胴具足

素懸浅葱糸威五枚胴具足

九曜紋ちらし蜻蛉文様馬具

刀装具

鶏図目貫 無銘（野村）

藤図鐔・縁頭 銘 後藤法橋一乗（花押）

海老図縁頭・目貫・鐔 銘 石黒正常

漁夫図小柄 無銘（水戸江戸）

鶴退治図小柄 無銘（傍後藤）

十字透鐔 無銘（紀州貞命）

花形透鐔 無銘（平安城）

魚唐草透鐔 無銘（南蛮）

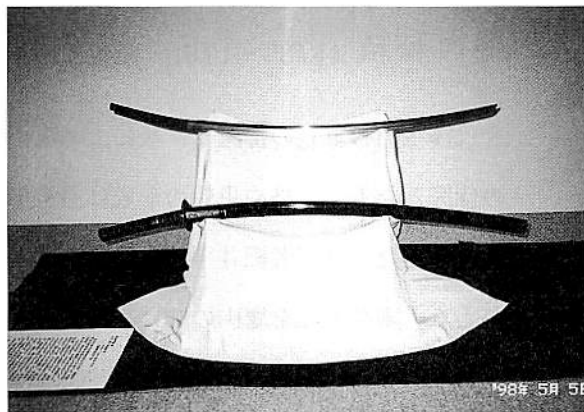
秋草図大小鐔 無銘（美濃）

牡丹獅子図大小鐔 無銘（伊藤）

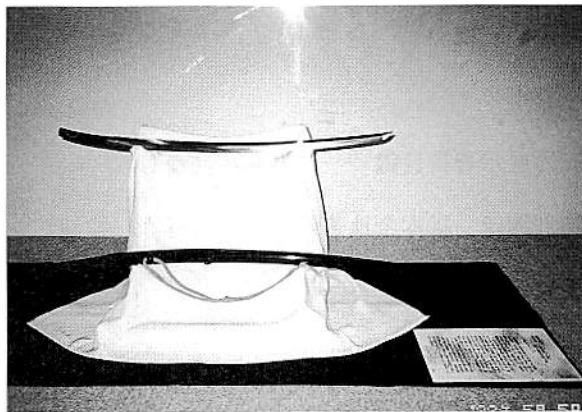
三国志図大小鐔 無銘（藻柄子）

合戦図大小鐔 藻柄子入道宗典製

桐唐草文鐔 無銘（正阿弥）



太刀 銘 長船長光



太刀 銘一（号姫鶴一文字）

館蔵品展 V

先人たちへの鎮魂を込めた「雪灯籠まつり」にちなみ、没後区切りの年を迎える米沢藩ゆかりの先人たちを顕彰した展示とした。



人物紹介及び展示資料

会 期：平成11年2月6日(土)～2月14日(日)

9日間(開館日数8日間)

主 催：米沢市立上杉博物館

主 管：財団法人 米沢上杉文化振興財団

入館料：一 般 100円(80円)

学 生 60円(45円)

小中生 40円(30円)

※()内は20名以上の団体割引料金

関連印刷物：

ポスター

展示資料目録 外部注文なし

特別展示：紙本金地著色 洛中洛外図(複製)

展示場所：展示室

資料の借用：

黒井堰御絵図(市立米沢図書館)

エドワード・スネル宛銃購入契約書

(市立米沢図書館)

直江兼続(1560-1619) 没後380年

米沢初代藩主上杉景勝の重臣で、関ヶ原の戦いに破れた後、米沢30万石に移封された後に米沢藩政の中樞にあたった。白布での鉄砲の製造や直江石堤など城下を作った。

・直江兼続肖像画

・火縄銃 30匁筒

藁科松柏(1737-1769) 没後230年

8代藩主上杉重定の侍医で、後に上杉鷹山の侍医となる。人格や思想の形成に最も影響を与えたのは儒者細井平洲と藁科松柏といえる。細井平洲を鷹山の師に推薦し、若き藩主となった鷹山の指導を平洲に託した。

・藁科松柏肖像画

・竹俣美作宛誓詞

・上杉鷹山木彫(鈴木実作)

黒井忠寄（1747－1799）没後200年

幼少から数学が得意で、勘定頭になると赤字の実態を調査し、寛政元年（1789）より金蔵の特別管理を任された。また、最上川の水をせきあげて「黒井堰」を開き、水利事業に大きく貢献した。

- ・ 黒井（半四郎）忠寄肖像画
- ・ 黒井堰御絵図
(市立米沢図書館蔵)
- ・ 黒井堰落成の図（狩野文信筆）

上杉齊定（1788－1839）没後160年

11代藩主で、重定の孫として米沢に生まれ、治広の養子となった。少年時代、鷹山の元で育った。越後街道の改修、飯豊山の穴堰の完成、借財の返済など、鷹山の政治を継承した。

- ・ 上杉家歴代藩主像
- ・ 上杉家文書（重要文化財）
(文政五年)五月上杉齊定自筆書状

上杉齊憲（1820－1889）没後110年

11代藩主齊定の長男で12代藩主となる。明治元年（1868）正月の鳥羽・伏見の戦により、奥羽越列藩同盟を組織し、会津藩を助けて政府軍と戦った。降伏した米沢藩は、率先した謝罪により所領四万石の削封と藩主齊憲の隠居という比較的軽いものであった。江戸末期の激動の時代を生きた米沢藩主である。

- ・ 上杉齊憲肖像写真
- ・ エドワード・スネル宛銃購入契約書
- ・ 六連発銃（スネル関連銃）
- ・ 大名行列図
(「国政改革前江府参勤行列」)

その他

- ・ 初入部の図（狩野文信筆）
- ・ 愛宕山雨乞いの図
(狩野文信筆)
- ・ 機織の図（狩野文信筆）

2. 新博物館準備事業

(1) 上杉家文書資料集作成作業

- 1 赤筆筭（坤）に収蔵されている近世文書44点を米沢古文書研究会に委託し解読した。
- 2 平成7・8年度に解読された部分をワープロ化し整理を行った。
- 3 修復以前の上杉家文書の記録として、新潟県史作成時のマイクロフィルム（新潟県立文書館所蔵）のデューブを作成した。

(2) 古文書の謄写本化

- 1 上杉家文書について修復時に作られたマイクロフィルムの不備な部分を再撮影した。
- 2 修復後の上杉家文書の確認作業を、赤筆筭（坤）／両掛入文書／精撰古案両掛入文書／歴代知行判物並領地目録／歴代官物文書類について行った。
- 3 上杉家文書の赤筆筭（乾）（坤）の謄写本を作成し、その他の文書群についてはマイクロフィルムリーダーからのプリントアップ、確認作業、製本依頼をおこなった。

(3) 資料調査事業

- 1 館蔵資料のうち書跡や古文書の一部について解読、要約を行った。
- 2 上杉氏関係資料について情報の確認を行った。（甲冑、刀剣等）

(4) 展示準備事業

1 平成13年度開館記念展

「（仮）上杉家の名宝」準備作業

展覧会の方向性について教育委員会と協議を行い、展示候補となる資料の情報収集を行っている。

2 平成14年度展覧会準備作業

平成10年度までに調査が進んでいるものは（仮）「狩野永徳」展（福岡市美術館と共同調査）のみである。進捗状況を下記に示す。

- ・文化庁美術工芸課を訪ね、本展覧会の企画内容、出品希望作品などについて相談、指導を仰ぐ。
- ・海外からの出品希望作品についての検討。
- ・海外出品希望作品調査（現状の把握、実際に今回の展覧会に必要であるのか、出品の可能性はあるのかなど）
アメリカ国内5館を訪問

(5) 館蔵資料（二次資料含）整理・保存作業

収蔵庫清掃、資料包み直し、防虫剤交換などの例年の作業に加えて以下の作業を行った。

・収蔵庫・蔵の燻蒸作業

平成10年7月13日から16日まで収蔵庫、蔵B棟の燻蒸作業を行った。処理後の効果判定では、燻蒸処理後の殺虫剤卵用テストサンプルを、温度27℃、湿度70～100% R Hの環境条件で14日間保持したが、成虫、蛹、幼虫の生存はなく、虫卵の孵化も認められなかった。

《燻蒸内容》

施工業者：関東港業株式会社 文化財保存対策事業部

指 導：財団法人 文化財虫害研究所

燻蒸方法：エキボンによる24時間密閉燻蒸

- ・椿貞雄 油絵「溪流」の修理（支持体の補強）
- ・宮島詠士書 額仕立直し
- ・風巻清左衛門宛上杉景勝書状 表装仕立直し
- ・上杉鷹山書 軸修理、裂け目修理
- ・上杉斉憲書 軸新調
- ・神保蘭室書 軸修理
- ・春・秋の刀剣手入れ

(6) 資料台帳整備作業

本年度は昨年度までの作業に加えて、収蔵品管理のデータベースを構築し、入力を開始した。

全資料（昆虫標本除く）7,600点について平成10年度までに完了した作業

・資料受入簿記入完了	7,000点
・資料カード記入完了	7,000点
・受入資料整理カード記入完了	一 部
・35mm写真撮影完了	6,900点
・採寸作業完了	6,900点
・集積情報のデータベース入力	400点

(7) 図書資料分類・整理作業

本年度は昨年までの作業に加えて、収蔵図書のデータベースを構築し、入力を開始した。

全蔵書10,500冊について平成10年度までに完了した作業

・図書原簿記入	10,500冊
・記述ユニットカード作成・ラベリングを完了	10,000冊
・書誌データ（件名、つづきカード分除く）入力完了	6,310冊
・登録番号重複の修正完了	7,000冊

(8) 新博物館展示設計業務

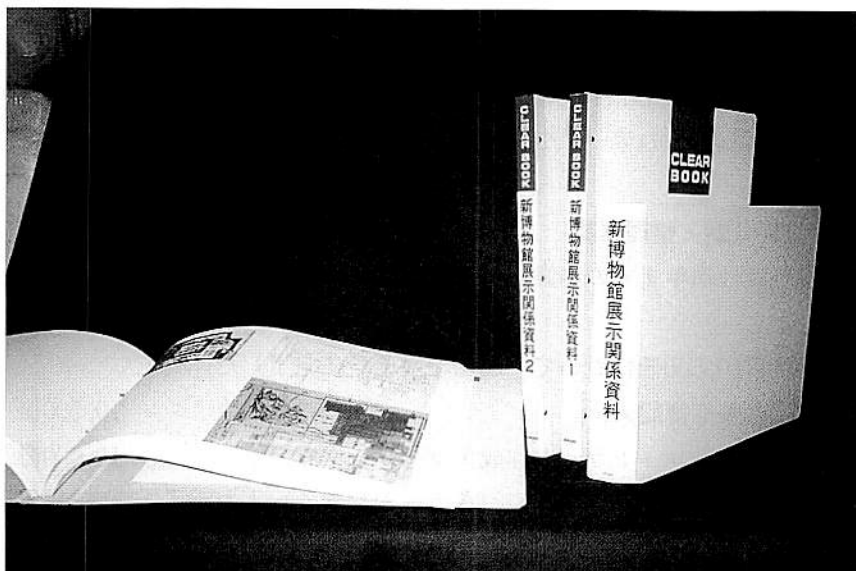
新博物館の概要設計、詳細設計書の作成にかかわる展示、情報、建築設備についての資料調査、資料提出、諸会議等を行った。

展示設計作業担当者は、展示を構成するための資料調査、展示設計業者（乃村工藝社）との打合せ（グラフィック、映像、造形を含む）、業者への資料提供等を行っている。

右ページの展示資料のカードは、展示を構成する素材として業者に提供したものの例あるが、これは地域の情報発信の基礎として情報コーナーでも利用できるものと考えられ、継続して少しずつ増やしている。下記の見開きファイルは、展示に利用することが決まった「享和二年松岬城（米沢城） 堞図」で内容の具体的調査を行ったものである。展示候補となる資料についての詳細調査、研究を続けている。

情報、建築設備設計担当学芸員は、館全体の情報システムについて設計業者（乃村工藝社）との打合せ、業者への資料提出、博物館の資料台帳整備作業と連動した収蔵品管理システム構築の提案等を行った。また諸室についての設えや必要備品等を検討し提案している。企画展示室の設えと展示ケースの設計も含まれる。

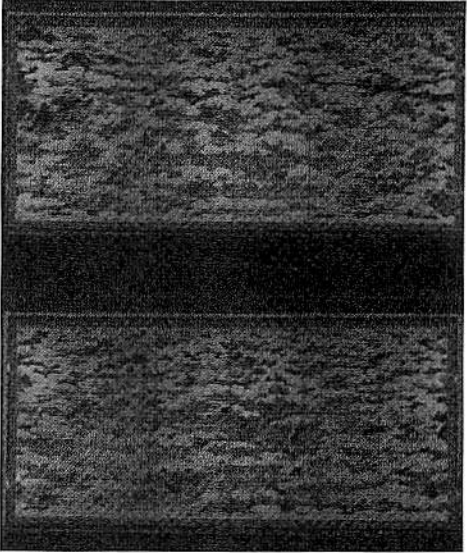
それぞれが分野ごとの会議や全体会議（米沢市教育委員会文化課、米沢市企画調整課、業者、内容によっては山形県）、勉強会（全体会議メンバーと博物館建設指導者）等での説明を行った。



展示資料カード記入例 （全345件）

展 示 資 料 カ ー ド

コーナー	洛中洛外図の世界		
資料名称	紙本金地蒔色 洛中洛外図	員数	6曲1双
指 定	国 宝	原・複	形態
法 量	たて 各 160.6 x 323.6 x	よこ	高 重量
所蔵者等	米沢市立上杉博物館 〒992-0052 米沢市丸の内1-4-13 TEL 0238-23-7302 FAX 0238-22-7302		
寄託先等	なし		
条 件 等			
写 真	C P・C N・ 館蔵・新撮・借用・		
メ モ	桃山時代の代表的な画家狩野永徳の作品で、天正2年(1574)に織田信長が上杉謙信に贈ったと伝えられている。在幕、在奥のなる6曲1双の屏風は、全面に金箔を貼った上、金・赤・青・紫・黄・白の6色に、決して重くはなく、軽快な線画で、画面に直接書き添ったコマ数230余、描かれた人物は2600人、精緻な描筆ながら透徹にはない、本墨風には、某の寄附地(洛中)と洛外(洛外)のさまざまな場面が描かれている。 世に洛中洛外図は複製存在する。しかし、上杉本のみは、出色の朱・赤・青・黄・白の5色、それら5色の美術的価値に於いて、16世紀に制作された初期の作品として極めて貴重であり、室町時代末期の幕の風俗が究明に資するものとして、文化史、社会経済史、建築史など、さまざまな分野において、注目される資料となっている。屏風の技法も、種々異なっており、研究資料として、歴史的にその研究課題を提示している。		



財団法人 米沢上杉文化振興財団

展 示 資 料 カ ー ド

コーナー	シーン1		
資料名称	直江石堤	員数	
指 定	市史跡	原・複	形態
法 量	高さ(石堤)より下辺 5 m x 9 m x 2 m	高	重量
所蔵者等	〒 TEL - - FAX - -		
寄託先等			
条 件 等			
写 真	C P・C N・ 館蔵・新撮・借用・		
メ モ	直江兼続の計画によって、谷川(最上川)左岸に築かれた石積みの堤防で、地名による谷地河原堤防とも呼ばれる。 上杉景勝の重臣であった直江兼続の指揮で、城下町(上)の町割が行われた。兼続は元の城下を拓き、家臣団の屋敷割りや町割を行ない、なお城下には居抜きされたのか、下級武士を郊外の南原・東原に配置し、街道の防衛と荒地の開墾にあたらせた。 また、治水・用水に力を配り、城下町の用水となる御入水(水堀)・新堀・新堀・新堀などを開削する一方、米沢城下の治水(治水)のため谷地河原堤防(直江石堤)と蛇子谷を築いた。		



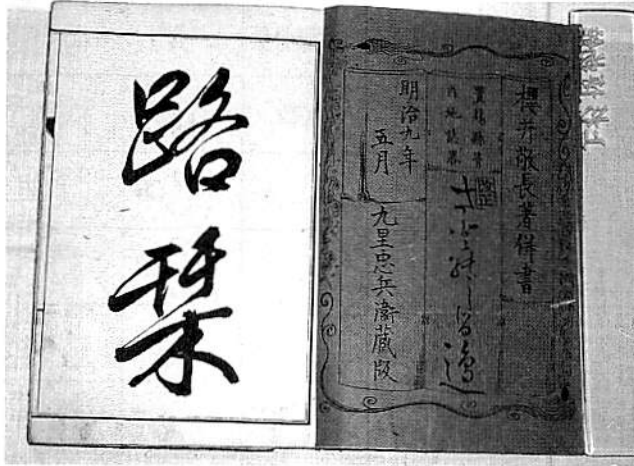
4. 収 集

(1) 受入資料

	分類	資 料 名	件数	点数	受入 種類	寸法 (cm) 縦×横×高さ
1	文献	竹股美作写世界地図	1	1	寄贈	31.8×71.3
2	書跡	上杉鷹山書（宿昔青雲志）	1	1	寄贈	外寸190.9×134.9 本紙39.4×26.7
3	彫刻	桜井祐一ブロンズ像「青春」	1	1	寄贈	高57.5×横17.8 台座18.3×18.3×2.4
4	文献	羽前米沢松岬公園上杉神社之図	1	1	購入	38.4×103.3
5		引札生そば・恵比寿・大黒・千両箱	1	1	購入	75.0× 25.8
6		引札子供の西洋楽器楽団	1	1	購入	74.7× 25.7
7		引札大日本全國金満家長者鑑	1	1	購入	50.0× 36.8
8		引札兵隊と暦	1	1	購入	37.3× 51.0
9		引札美人と暦	1	1	購入	25.6× 36.9
10		短冊下条桂谷	1	1	購入	36.3× 6.0
11		さとのしるべ 櫻井敬長著	1	1	購入	25.4× 17.4
12		米沢土産	1	1	購入	39.2×157.2 袋20.0× 13.1
13		引札胃活	1	1	購入	26.0× 37.2
14		ポスター 小松スキー場	1	1	購入	76.7× 52.8
15		ポスター 菊花品評会	1	1	購入	79.4× 53.3
16		ポスター 米沢自動車株式会社	1	1	購入	77.3× 35.2
17		ポスター 米沢自動車株式会社	1	1	購入	79.3× 53.0
18		ポスター 第一回山形県少年野球大会	1	1	購入	76.6× 25.6
19		引札恵比寿・大黒	1	1	購入	25.9× 37.3
20		引札汽車と旗場	1	1	購入	75.7× 51.5
21		信州川中島古戦場の図	1	1	購入	54.7× 78.8 封19.5× 14.0
22		引札蒸気船と暦	1	1	購入	26.0× 37.3
23	絵画	錦絵三山総絵図	1	1	購入	46.2× 63.2
24	文献	引札萬漆器製造	1	1	購入	53.5× 38.0
25		引札しめなわ	1	1	購入	37.6× 26.1
26		引札暦	1	1	購入	52.6× 32.5
27		引札暦	1	1	購入	51.0× 37.0
28		米沢ヒロイン会広告	1	1	購入	39.5× 52.8
29		米沢市湯沢屋洋物太物店広告	1	1	購入	24.5× 33.0
30		引札牛乳搾取ミルク・クリーム・バター	1	1	購入	37.6× 51.6
31	絵画	武者絵（附：木村東介寄贈の言）	1	137	移管	

2 上杉鷹山書（宿昔青雲志）（右）

3 桜井祐一ブロンズ像「青春」（左）



11 さとのしるべ 櫻井敬長著



31 武者絵 「太平記英勇傳」
上杉不識院謙信（一恵齋芳幾筆）



武田大膳大夫晴信入道信玄（朝霞楼芳幾画）

(2) 収蔵資料数

平成7年度より資料分類・整理の方法が改定され、収蔵資料の再確認が行われた。

平成11年3月31日までに確認済みの件・点数、及び収蔵資料合計を下記に掲載する。

平成11年3月31日現在

					平成10年度収蔵資料数		合 計		
人 文 系 の 博 物 館 資 料	大 分 類				件数	点数	件数	点数	
	総 集				—	—	36	36	
	有 形 の 資 料	伝 世 資 料	文 献	内容を重視するもの (文献)	27	27	5,618	6,875	
				技術や筆者を重視するもの (書跡)	1	1	180	216	
			工 芸 品	用途を重視するもの (民具その他)	2	15	687	1,368	
				技術を重視するもの (美術工芸品)	—	—	51	103	
			絵画 (技術を重視するものを主とする)			2	138	430	596
			彫刻 (技術を重視するものを主とする)			1	1	15	15
			埋 蔵 発 掘 資 料			—	—	—	—
			遺 跡 (記念物、建造物を含む)			—	—	—	—
無 形 の 資 料				—	—	—	—		
計					33	182	7,017	9,209	
自 然 系 の 博 物 館 資 料					—	—	1,488	13,400	
合 計					33	182	8,505	22,609	

5. 博物館実習

本館では、各大学の学芸員資格取得者のため、博物館実習生を受け入れている。

本年度はA班、B班、C班の3班に分かれ、各3名ずつで実習を行った。実習内容を紹介したい。なお、本年度は文化課との協力で埋蔵文化財での実習も各2日間行った。

－ A 班－

期 間 9月1日～9月8日

氏 名 大 学

板 垣 樹 佳 東北芸術工科大学
木 村 麻 美 米沢女子短期大学
熊 谷 裕 子 米沢女子短期大学

博物館実習計画

実習日	実 習 内 容	実習項目
9/1	博物館概説	博物館管理
	博物館業務説明	
	保管庫、蔵整理	
9/2	境内石碑調査	資料調査
9/3	昆虫標本整理	資料整理
9/4	台帳整備	資料調査
	環境管理機材の取扱い	
	博物館実習総括	
9/7	遺物整理（考古）	資料整理・保存
9/8	遺物整理（考古）	資料整理・保存

－ B 班－

期 間 9月9日～9月15日

氏 名 大 学

石 倉 麻 里 女子美術大学
安 部 美智子 米沢女子短期大学
藤 原 由紀子 米沢女子短期大学

博物館実習計画

実習日	実 習 内 容	実習項目
9/9	遺物整理（考古）	資料整理・保存
9/10	遺物整理（考古）	資料整理・保存
9/11	博物館概説	博物館管理
	博物館業務説明	
9/12	資料展示・取扱い	資料展示
	境内石碑調査	
	受付ガイダンス・受付	
9/13	昆虫標本整理	博物館経営 資料整理・保存
	境内石碑調査	
9/15	環境管理機材の取扱い 実習総括	資料管理

－ C 班－

期 間 9月16日～9月22日

氏 名 大 学

浦 浜 慶 子 米沢女子短期大学
佐 藤 智 美 米沢女子短期大学
山 本 麻 子 米沢女子短期大学

博物館実習計画

実習日	実 習 内 容	実習項目
9/16	遺物整理（考古）	資料整理・保存
9/17	遺物整理（考古）	資料整理・保存
9/18	博物館概説	博物館管理
	博物館業務説明	
	蔵整理・清掃	
9/19	境内石碑調査	資料調査
	受付ガイダンス・受付	
	昆虫標本整理	
9/20	受付	博物館経営 資料整理・保存
	昆虫標本整理	
9/22	境内石碑調査	資料調査
	環境管理機材の取扱い 実習総括	

入館利用状況

1. 利用状況

各種展覧会入館者・入館料集計表

展覧会名	会 期	日数	一 般	学 生	小中生	団体一般	団体学生	団 体 小中生	その他	合 計
館蔵品展 Ⅰ	4月25日 ～ 5月5日	10日	人 4,718	473	329	25	0	0	5	5,550
			円 471,800	28,380	13,160	2,000	0	0	0	515,340
館蔵品展 Ⅱ	8月8日 ～ 8月16日	8日	人 2,411	227	380	20	0	0	14	3,052
			円 241,100	13,620	15,200	1,600	0	0	0	271,520
館蔵品展 Ⅲ	9月12日 ～ 9月27日	12日	人 1,614	79	78	310	0	14	11	2,106
			円 161,400	4,740	3,120	24,800	0	420	0	194,480
館蔵品展 Ⅳ	10月20日 ～ 11月3日	13日	人 2,684	76	78	248	0	0	1	3,087
			円 268,400	4,560	3,120	19,840	0	0	0	295,920
館蔵品展 Ⅴ	2月6日 ～ 2月14日	8日	人 590	14	32	0	0	0	4	640
			円 59,000	840	1,280	0	0	0	0	61,120
合 計		51日	人 12,017	869	897	603	0	14	35	14,435
			円 1,201,700	52,140	35,880	48,240	0	420	0	1,338,380

月別入館者数

月 別	開館日数	一 般	学 生	小中生	団体一般	団体学生	団体小中生	その他	合 計
4 月	5	1,105	47	40	0	0	0	0	1,192
5 月	5	3,613	426	289	25	0	0	5	4,358
6 月	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7 月	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8 月	23	2,411	227	380	20	0	0	14	3,052
9 月	12	1,614	79	78	310	0	14	11	2,106
10 月	11	2,029	58	47	225	0	0	9	2,368
11 月	2	655	18	31	23	0	0	1	728
12 月	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1 月	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2 月	8	590	14	32	0	0	0	4	640
3 月	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	51	12,017	869	897	603	0	14	35	14,435

年度別入館者数・開館日数・1日平均入館者数

年 次	入館者数	開館日数	1日平均
平成元年	22,317	252	88.6
2 年	24,747	173	143.0
3 年	23,857	243	98.2
4 年	34,272	256	133.9
5 年	37,355	241	155.0
6 年	31,082	241	129.0
7 年	17,088	94	181.8
8 年	16,747	164	100.5
9 年	18,651	151	123.5
10年	14,435	51	283.0

2. 利用案内

○開館時間

午前 9 時～午後 5 時(但し、入館は午後 4 時30分まで)

毎週火曜日：館内整理日 午前 9 時～午後 4 時(但し、入館は午後 3 時30分まで)

○入館料

区 分		金 額	摘 要
一 般		100円	20歳以上の者
学 生		60円	一般及び児童・生徒を除く者
児童・生徒		40円	小学校及び中学校の児童又は生徒
団 体	一 般	80円	20人以上の場合に限る
	学 生	45円	
	児童・生徒	30円	

備考：期間を定めて特別の展示をする場合は、市長が別に定める額とする。

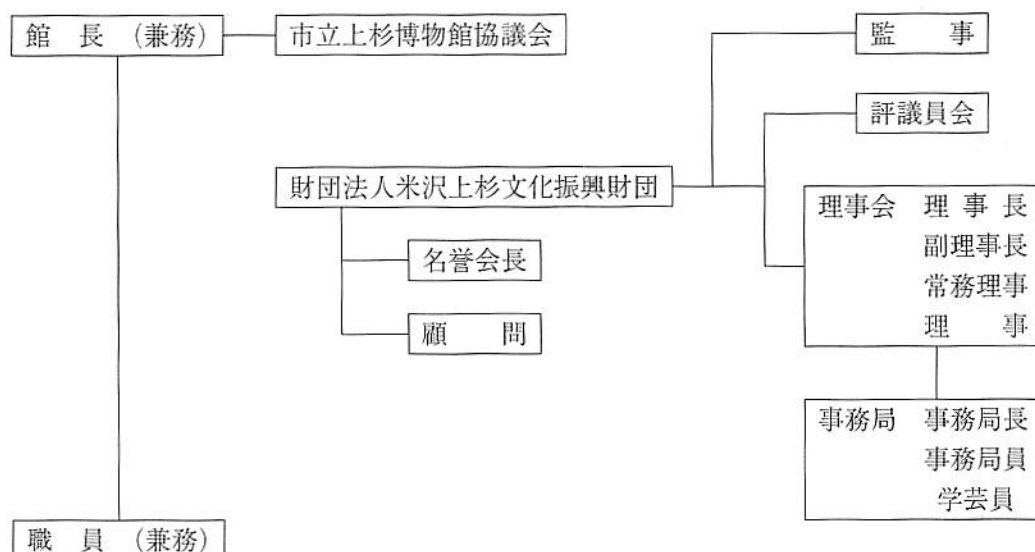
○休館日

毎週月曜日・年末年始（12月29日～1月3日）・祝祭日の翌日・館内整理期間

※但し、平成13年秋の新博物館開館に向けての準備作業のため、平成11年度特別展（4月25日～5月5日）以降は休館とさせていただきます。

組 織 ・ 名 簿

組 織



1. 米沢市立上杉博物館協議会委員 (平成10年7月1日～平成12年6月30日) (敬称略)

吉 田 美智子	米 沢 市 小 学 校 長 会 代 表	(平成11年3月現在)
田 畑 実	米 沢 市 中 学 校 長 会 代 表	
卷 久	米 沢 市 高 等 学 校 長 会 代 表	
太 宰 保 子	米 沢 市 社 会 教 育 委 員	
栗 林 金 郎	(財)米沢上杉文化振興財団副理事長	
石 栗 正 人	米沢市文化財保護委員会委員長	
木 村 勇 一	学識経験者	
上 杉 虎 雄	学識経験者	
中 條 淳 子	学識経験者	
菊 池 伸 之	学識経験者	
鈴 木 仁	学識経験者	
黒 田 信 介	学識経験者	
佐 藤 美保子	学識経験者	
鳥 海 隼 夫	学識経験者	
山 村 精	学識経験者	

(根拠法令等)

1. 博物館法第20条～第22条 (博物館協議会)
2. 教育委員会が任命
3. 米沢市博物館の設置及び管理に関する条例第16条により定数15名、任期は2年

(参考) 委員は、学校教育及び社会教育の関係者並びに学識経験のある者。

(職 務) 一博物館法第20条第2項一

博物館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べる。

2. 財団法人 米沢上杉文化振興財団

本館の管理を委託していた社団法人上杉博物館が平成2年3月に解体し、かわって財団法人上杉文化振興財団が平成2年3月22日設立され、米沢市立上杉博物館の管理運営を財団に委託することとなった。

この財団は、平成元年、上杉家16代当主隆憲氏より、重要文化財「上杉家文書」・重要文化財（現在は国宝）「紙本金地著色洛中洛外図」・県指定文化財「紙本著色厩図」・重要美術品「太刀銘長船長光附打刀拵」の4件が米沢市に寄贈されたことを機として設立されたものであり、地域文化の振興を図るため、歴史・文化に関する調査研究及び美術品の公開展示などの地域社会のより豊かな文化生活に寄与することを目的としている。

役 員（平成11年3月現在）（敬称略）（五十音順）

名誉会長	上 杉 邦 憲				
顧問	高 橋 幸 翁	中 川 勝			
理事長	青 木 厚 一				
副理事長	栗 林 金 郎	石 塚 忠 夫			
常務理事	小 関 薫				
理 事	上 杉 敏 子	上 杉 裕 憲	上 杉 隆 治	笥 統 子	山 中 絢 子
	上 杉 虎 雄	大 乗 寺 健	相 田 實	相 田 吉 助	荒 井 政 二 郎
	石 栗 正 人	遠 藤 英 明	加 藤 裕 子	北 目 二 郎	九 里 茂 三
	黒 金 義 一	小 口 亘	小 嶋 彌 左 衛 門	庄 司 淳	椿 初 枝
	長 岡 正	松 田 俊 春	横 山 一 郎		
評 議 員	赤 木 伊 勢 吉	荒 井 信 雄	井 形 朝 良	遠 藤 綺 一 郎	沖 田 良 夫
	小 野 榮	勝 見 吾 助	上 泉 治	菊 池 伸 之	小 泉 溥 瑛
	小 林 勇	桜 井 三 男	佐 藤 美 保 子	清 水 澄	塩 川 勝 彦
	須 貝 力	高 橋 素 子	長 尾 和 彦	新 田 秀 次	松 野 良 寅
	水 無 瀬 正 一	山 岸 才 一	黄 木 サ ダ	木 村 勇 一	齋 藤 春 美
	鳥 海 茂 太	保 坂 忠 士			
監 事	平 田 葉	村 岡 孝 助	安 部 紀 子		

事 務 局

事務局長	嶋 貫 雄 次		
事務局員	角 屋 由 美 子（学芸員）	花 田 美 穂（学芸員）	生 熊 郁 子

3. 米沢市立上杉博物館（平成10年4月1日現在）

館長(兼務)	小 杉 基	米沢市教育委員会文化課	課長
職員(兼務)	小 林 伸 一	〃	課長補佐
〃 〃	山 本 卯	〃	文化財係長
〃 〃	平 間 洋 子	〃	文化財係主査
嘱託職員	佐 藤 裕 子	〃	学芸員補

平成10年度

米沢市立上杉博物館年報 Vol. 11

編集 米 沢 市 立 上 杉 博 物 館
(財)米 沢 上 杉 文 化 振 興 財 団
〒992-0052 山形県米沢市丸の内一丁目4-13
TEL 0238-23-7302

発行 米 沢 市 教 育 委 員 会
〒992-0012 山形県米沢市金池三丁目1-55
TEL 0238-22-5111

平成12年3月31日発行

印刷 株 式 会 社 ケ ム シ ー
